

国立大学イノベーション 創出環境強化事業 (令和2年度採択) フォローアップ調書

法人名：東海国立大学機構

大学名：岐阜大学

令和3年7月

目次：

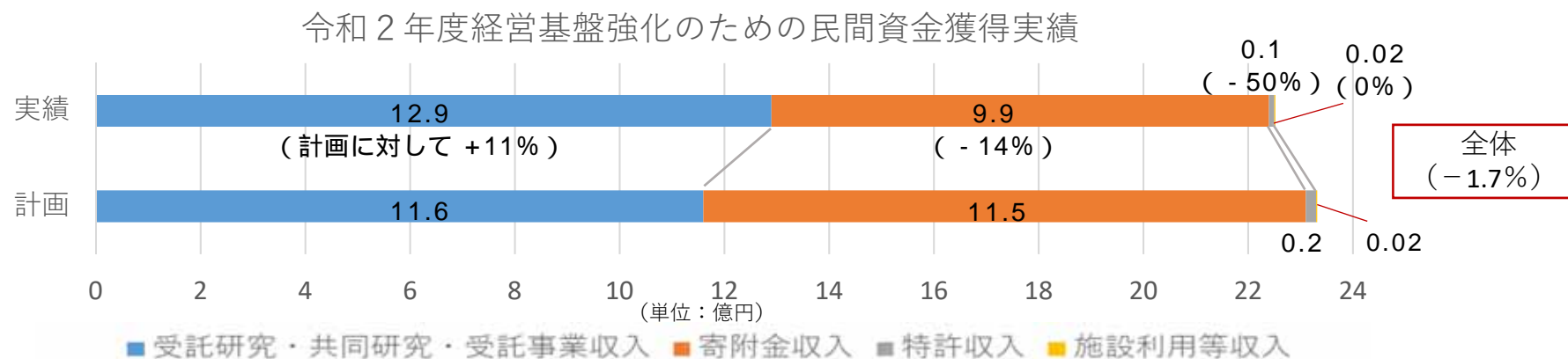
1. 民間資金獲得状況
2. 取組の進捗状況
3. 交付金の活用状況
4. 大学収入の状況
5. その他
6. 連絡先等

1. 民間資金獲得状況

< 令和2年度の計画と実績 >

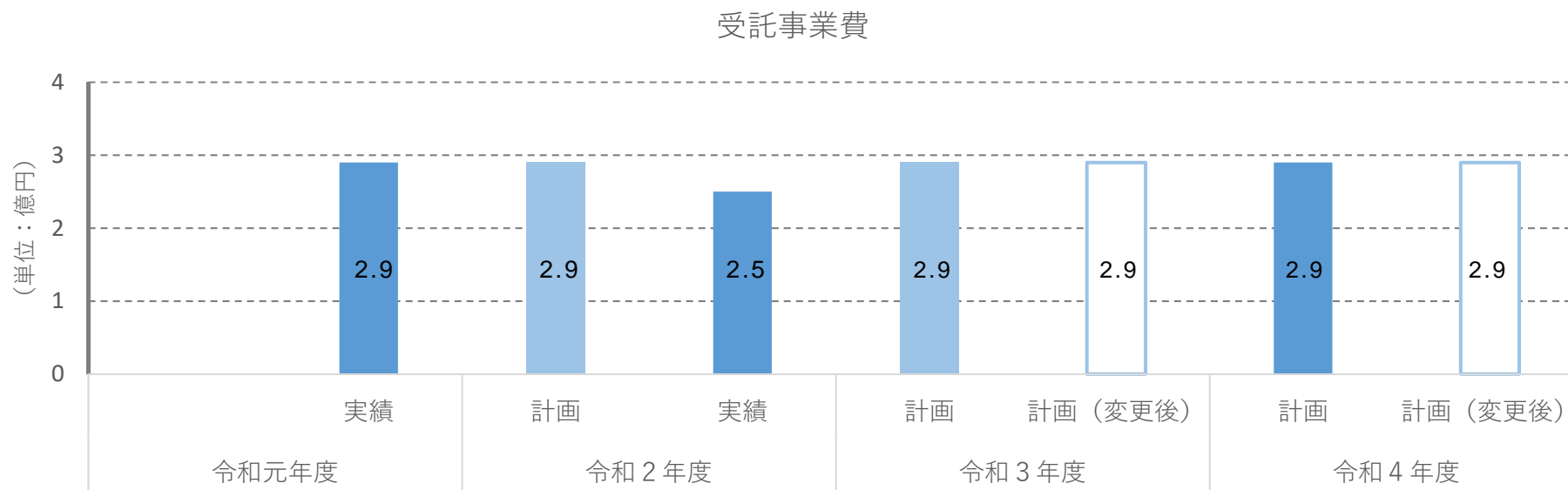
費目	計画 (単位：億円)	実績 (単位：億円)	備考
産学連携による間接経費収入	1.5	2.0	計画比+0.5
受託研究費	1.5	2.1	計画比+0.6
共同研究費	5.7	6.3	計画比+0.6
受託事業費	2.9	2.5	計画比-0.4
寄附金収入	11.5	9.9	計画比-1.6 法人からの奨学寄附金の減少
特許収入	0.2	0.1	計画比-0.1
施設利用料収入	0.02	0.02	
計	23.32	22.92	計画比-0.4 主に寄附金の減収

「受託研究費」、「共同研究費」、「受託事業費」の各費目は、直接経費を記載。これら3費目に対応する間接経費収入の合計を「産学連携による間接経費収入」の費目に記載。



1. 民間資金獲得状況

< 受託事業費について >



(状況の分析)

令和2年度の受託事業費の実績は**コロナ禍の影響**を受け、**計画を0.4億円下回る**結果となった。中部経済産業局の発表する経済動向調査では、本学の主要な委託者である**東海圏の製造業企業**の令和2年度の**生産指数**がコロナ禍以前の平年比で**最大40%落ち込んで**おり、民間からの**定型業務の受託の減少**が、主な受託事業費の減少の理由になっていると分析している。

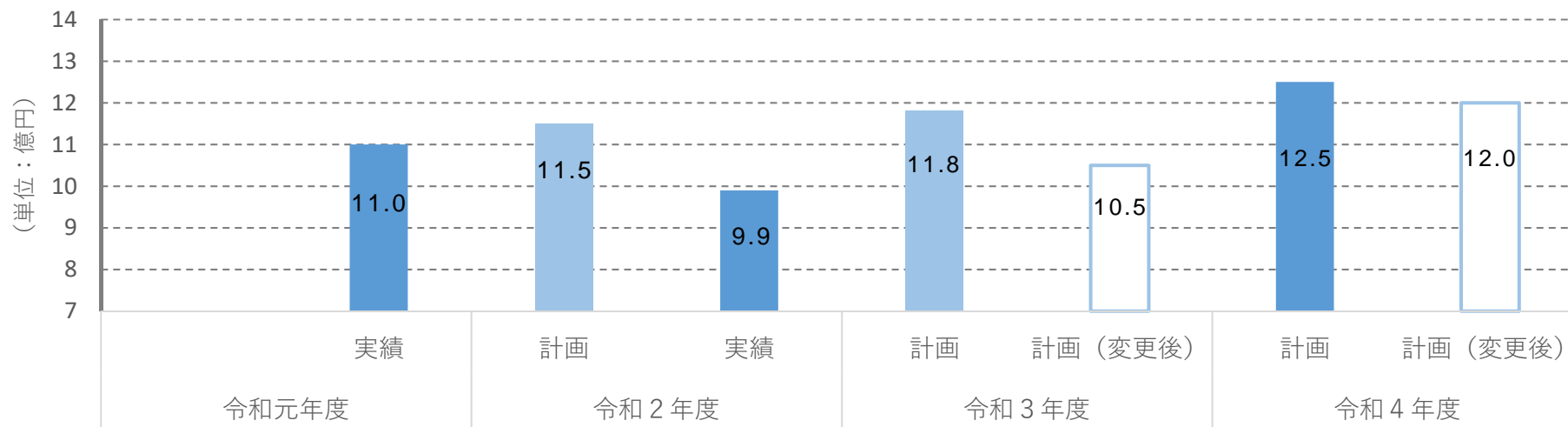
(計画変更)

令和3・4年度の計画変更は行わない。令和3年度4月期の東海圏の製造工業生産指数は105.2と平年並みに回復し、景況判断においても設備投資は横ばいとなっていて、状況は好転していることから、大学の業務受託も回復すると見通している。

1. 民間資金獲得状況

< 寄附金収入について >

寄附金収入



(状況の分析)

令和2年度の寄附金収入の実績は**コロナ禍の影響**を受け、寄附金総収入としては**計画を1.6億円下回る**結果となった。この**主要因は法人からの奨学寄附金の2.05億円の減収**であり、一方で、コロナ禍の特別修学支援事業等による**岐阜大学基金は当初計画を0.45億円上回る0.95億円の実績**を上げている。受託事業費と同様に、本学の主要な寄附者である**東海圏の製造業企業の収益が落ち込む見通し**の中で、**経常利益を主たる財源とする奨学寄附金が減少**したと分析している。

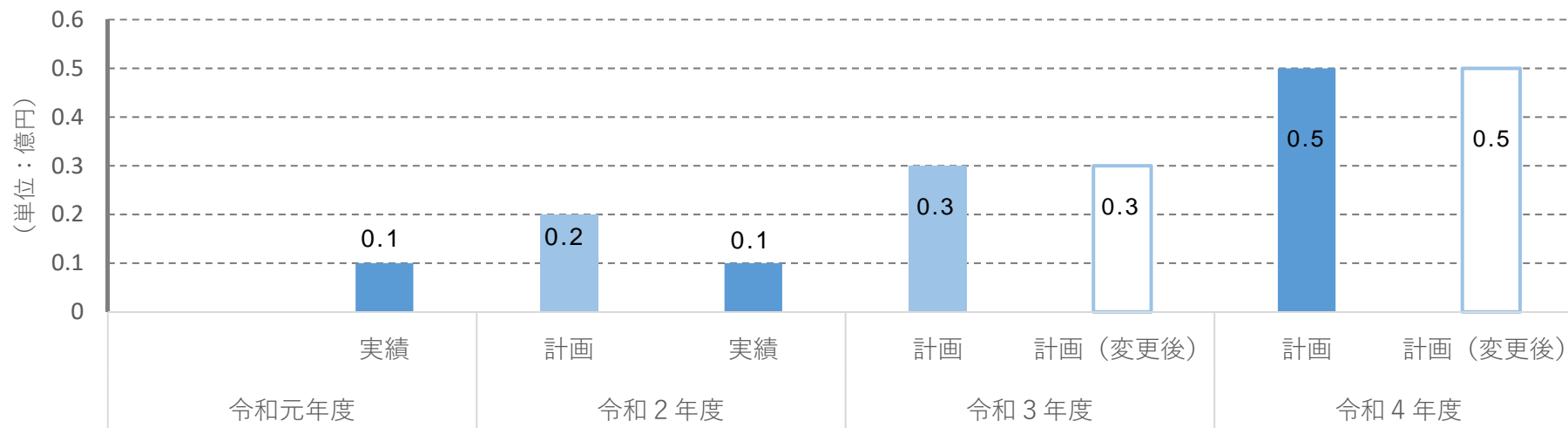
(計画変更)

コロナ禍の影響は、令和3年度以降も継続すると見込んでいる。令和3年度4月期の**東海圏の製造業企業の業績**は回復基調にあるが、**経常利益を確保したとは言えず、寄附マインドの低下傾向は続く**と考えられる。**法人からの従来型の寄附金収入が低調**となる前提の下、令和3年度は奨学寄附金への**クラウドファンディング導入による個人からの寄附収入を増加**することを主軸として第一に**令和元年度実績値への回復**を目指すこととした。令和3年度の計画は、11.8億円から10.5億円に下方修正し、令和4年度は、クラウドファンディングの規模拡大と事業環境改善による法人からの寄附金収入の増加を盛り込み、総額12億円を寄附金収入の計画とする。

1. 民間資金獲得状況

< 特許収入について >

特許収入



(状況の分析)

令和2年度の特許収入の実績は**計画を0.1億円下回る**結果となった。知財収入として計画していた**総額0.3億円の特許実施許諾案件**が**相手企業の事業戦略変更に伴い解約**となり、初年度のライセンス契約料0.1億円を獲得できなかったことが理由である。令和2年度後半から民間の知財マネジメント会社も活用した**研究シーズマーケティング調査活動**により21社との面談を実現し、**新たな候補企業を発掘**できており、本活動成果は**令和3年度以降に特許収入として顕在化**すると見通している。

(計画変更)

令和3・4年度の計画変更は行わない。

2. 取組の進捗状況

< 取組概要 >

◎：計画以上に進捗している
 ○：計画どおりに進捗している
 △：当初の計画どおり進捗していないが、目的は達成している

取組	令和2年度 自己評価	内容
【取組1】 知財・技術移転、安全保障輸出管理の 統合・強化	△	<ul style="list-style-type: none"> ライセンス契約予定企業の事業計画変更に伴い、契約覚書が解約され、特許収入の計画が未達。 特許収入に繋がる有望案件は全て共同研究が実施され、中長期的な特許収入増への基盤整備は計画通りに進捗。
【取組2】 スタートアップ（ベンチャー）創設・ 成長支援の充実	◎	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜大学発ベンチャーからの外部資金獲得（共同研究・知財収入等）に向けた資金・インフラ面での支援、プロジェクトの伴走的支援体制の整備により、当初の目標を超える成果。
【取組3】 コアファシリティ体制の強化	◎	<ul style="list-style-type: none"> 外部利用者による岐阜大学内共用機器へのアクセスを容易にするWeb検索システムの構築と機器運用のバックボーンとなる機器のネットワーク化、技術職員の支援体制構築を計画通りに完了。 岐阜大学内の取組を東海国立大学機構全体に展開する取組により、令和3年度文科省コアファシリティ構築支援プログラムに採択。
【取組4】 デジタルツールによるシーズ・ニーズ マッチングの促進	○	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜大学の研究者データベースを構築し、単語の曖昧検索によるWeb検索システムを開発し、シーズ・ニーズマッチングを迅速かつ的確に行う基盤を構築。的確な検索が迅速にできることを確認。

2. 取組の進捗状況

< 取組概要 >

◎：計画以上に進捗している
 ○：計画どおりに進捗している
 △：当初の計画どおり進捗していないが、目的は達成している

取組	令和2年度 自己評価	内容
【取組5】 マッチングファンド型地域ブランド 共同研究講座の開設	○	・ マッチングファンド型地域ブランド共同研究講座の制度設計を行うとともに、地域ブランド候補の地方自治体・関連団体と企業から構成される地域創生協議会の設置により、地元企業との交渉を深め、講座設置に繋がる包括契約等を完了。
【取組6】 地域展開ビジョン2030の推進	◎	・ 地域展開ビジョン2030をベースに社会実装や民間企業参画の促進が期待される研究を学内公募し、予算支援。令和2年度は目標を超える0.1億円の共同研究収入を獲得して共同研究を実施、次年度への弾込め化。（令和3年6月末時点で0.7億円(23件)の共同研究が開始）
【取組7】 寄附金獲得体制の強化	◎	・ コロナ禍での特別修学支援事業により、計画を超える0.95億円の寄附金を獲得。 ・ 体制構築として、DO室にファンドレイザーを配置、寄附金マーケティングツールとなる基金システムの基本設計を完了。 ・ 新たな寄附ツールとなるクラウドファンディングについて、基金向け制度を策定、一般の寄附金への展開準備を完了。
【取組8】 外部資金獲得が促進される人事制度 改革	○	・ 民間企業からの外部資金獲得額の多い教員について、「産学連携教授」「産学連携准教授」の称号授与、「産学連携重点研究室」認定を行う制度を整備し、外部資金獲得に対するモチベーション向上施策を実施。

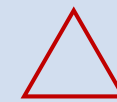
2. 取組の進捗状況

【取組1】知財・技術移転、安全保障輸出管理の統合・強化

機構の技術移転ノウハウを活用した恒常的な実施料収入体制の構築

令和2年度の実績/計画 = 0.1/0.2億円

令和2年度
自己評価



令和2年度の活動実績

- 恒常的収入の柱に位置付けた **5件の知財に関して、新たな治験及び共同研究として特許の実用化を目指して、それぞれ1社と体制構築を完了。**
- 総額0.3億円のライセンス契約**に関する覚書が相手企業の事業計画変更に伴い**解約**されたことにより、**令和2年度分**のライセンス契約料**0.1億円を逸失**し、特許収入の目標は未達。
- 上記のような**リスクへの対処策**として、**民間企業も活用**した**研究シーズマーケティング活動**を行い、新たに**21社の協業候補先を発掘**することに**成功**。
- 機構における知財管理システムと安全保障管理システムの統合について**統合事前準備**となるデータ調整等を**計画通りに完了**。

令和3・4年度の計画

- 柱とした5件の知財に新たな知財1件を加えて、**治験及び共同研究によって実用化への目途**をつけ、**0.25億円の実施許諾契約**の見込み。この実施許諾契約と**継続的な小型案件の確実な回収**により。令和3年度は**0.3億円**、令和4年度は0.5億円の知財収入を**計画**。
- 研究シーズマーケティング活動により見出した21社の候補先との共同研究体制を構築し、**令和3年6月末現在で2件の共同研究契約**を締結。
- 知財管理システム**は機構としての**統合を完了**し、**令和3年7月から運用を開始**。安全保障管理システムは、令和3年度中に導入を進め、令和4年度から運用を開始。

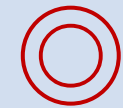
2. 取組の進捗状況

【取組2】スタートアップ（ベンチャー）創設・成長支援の充実

スタートアップエコシステムによる大学発ベンチャーからの資金獲得

令和2年度の実績/計画 = 0.4/0.3億円

令和2年度
自己評価



令和2年度の活動実績

- 下記のベンチャー支援施策を行い、**大学発ベンチャー4社との共同研究**を実施し、**共同研究収入0.4億円**を獲得して目標を達成。
 - **ベンチャー担当**のコーディネーター及び事務スタッフの配置による**伴走的支援体制**の整備
 - 試作開発専用の**岐阜大学イノベーション創作室**の整備
 - **ブランド向上**を意図した**認定ベンチャー制度**によるスタートアップ企業への称号授与
- 本事業による「東海地区スタートアップエコシステム構築に向けた起業支援事業」において、**岐阜・名古屋両大学から各5件(計10件、うち学生3件)**を採択。**採択全件でベンチャー創設に向けた取組**を開始。自然科学研究科、医学部看護学科の学生の取組が**キャンパスベンチャーグランプリ全国大会**で**文部科学大臣賞・テクノロジー大賞、審査委員会特別賞を受賞**（令和3年1月）

令和3・4年度の計画

- 令和2年度同様の支援施策の拡充に加え、下記の取組により、**起業機会の増大**と**共同研究環境の充実**を図り、**中長期的な共同研究収入の増加**を目指す。ベンチャーからの共同研究収入を令和3年度は0.3億円、令和4年度は0.7億円とする従来計画からの変更はなし。
 - 学内における**起業シーズの発掘調査**（令和3年度実施中）
 - 学内人材と地域産業界との**協働/共創コワーキングスペース**の整備（令和3年度実施中）
 - 学内の**ベンチャー入居スペース**を確保（令和3～4年度）
 - **金融機関・ベンチャーキャピタル（VC）**との連携促進（令和3～4年度）

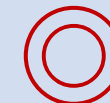
2. 取組の進捗状況

【取組3】コアファシリティ体制の強化

「大学資産」を活用した外部資金獲得体制の構築

令和2年度の実績/計画 = 0/0億円

令和2年度
自己評価



令和2年度の活動実績

- 岐阜大学の共用機器の外部利用施策を推進するため、**Web検索システム**の開発、分析機器・設備の**ネットワーク対応**と**組織再編**に取り組み、当初**計画通り**にコアファシリティ体制を構築し、先行する**20機器**の取組を完了。
 - 利用者の**自由文検索に対応**した**曖昧検索可能**な共用機器**Web検索システム**の**試行**
 - 高利用頻度機器**の共焦点レーザー顕微鏡、走査型電子顕微鏡の**ネットワーク対応整備**
 - 「科学研究基盤」等、**利用目的に応じた4技術支援室の設置**と技術職員の支援室への配置



令和3・4年度の計画

- 令和2年度の**岐阜大学実績をベース**にコアファシリティ体制を**岐阜大学から東海国立大学機構全体に展開**するプランを策定し、令和3年6月に**文部科学省コアファシリティ構築支援プログラム採択**を受け、本プログラムの下で**東海国立大学機構統括技術センターへの体制拡張**を**加速化**。
- 組織再編に加え、**機構内技術交流**により、**機構所属技術職員の専門性強化**による主要機器**整備の内製化**により、コアファシリティ体制の**低コスト化**を推進。
- 強化されたコアファシリティ体制**において、**共用機器利用を起点**とする企業との**共同研究・受託事業**の**発掘**、外部機関の**会員制導入**、**技術職員によるコンサル機能**によって、**新たな収益ルート**の**開拓**を行い、**高収益化**を推進。

2. 取組の進捗状況

【取組4】 デジタルツールによるシーズ・ニーズマッチングの促進
共同研究「入口」の機会を確保するAI-Web検索システムの構築

令和2年度の実績/計画 = 0/0億円

令和2年度
自己評価



令和2年度の活動実績

- 岐阜大学研究者データベース構築とWeb検索機能の基本設計を当初計画通りに完了。
 - 国内研究者の標準データベースResearchmapを基にした**恒常的・拡張的運用可能な岐阜大学専用データベース**の構築
 - 企業利用者の直観に訴える研究者データに対する**曖昧検索機能**の開発

従来：Researchmap

単語検索

R2：デジタルマッチングシステム

曖昧検索

R3：AI-チャットボット

令和3・4年度の計画

- 令和3年度は、当初計画通り、データベースの拡充、AI組み込み検索システムの実装を中心としたシステムの完成と運用開始。
 - 名古屋大学のデータベース化によるシーズカバレッジ向上**
 - AIを組み込んだチャットボット検索機能**によるシーズ・ニーズマッチングシステムの**判定精度向上**
 - ショーウィンドウ機能**による研究・特許の**販売機能実装**
- 令和4年度は、当初計画通り、システムの本格的運用を開始。



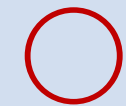
2. 取組の進捗状況

【取組5】 マatchingファンド型地域ブランド共同研究講座の開設

オープンイノベーションによる地域ブランド産業技術の高度化

令和2年度の実績/計画 = 0/0億円

令和2年度
自己評価



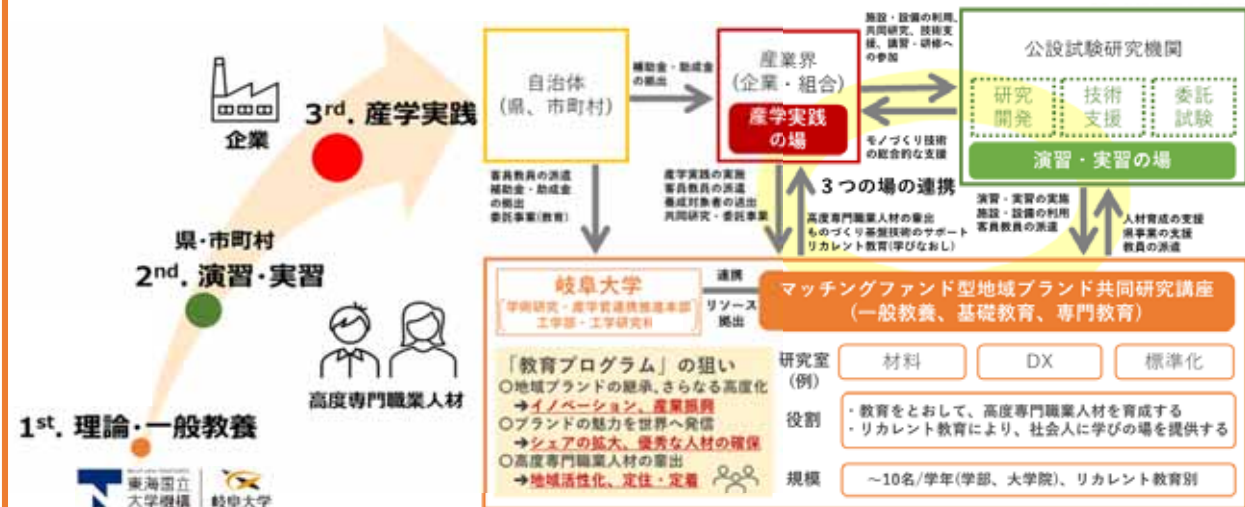
令和2年度の活動実績

- **Matchingファンド型地域ブランド共同研究講座**の**制度設計**を行うと共に、岐阜県内の地方自治体、関連団体や企業へのヒアリングなどから、地域ブランド共同研究講座の**候補を選定**。
- 大学、地方自治体と産業界から構成された**地域創生協議会**を**設置**、協議会を概ね3か月に1回、ワーキンググループを概ね1か月に1回**開催**。
- 地元企業と**地域創生**を目的に**地域包括連携**を**締結**し、講座の開設に向けた協議を開始。

令和3・4年度の計画

- 令和3年度は、共同研究講座を1～2講座設置する計画であり、現在、**協議会**や**ワーキンググループ**において**Matchingファンド型地域ブランド共同研究講座**が**地域創生**で果たす**役割とめざす姿**を共有し、共同研究講座の具体的な**実施内容**と**設置**に向けて**議論中**。
- 令和4年度は、共同研究講座を2～4講座に増設する計画として、候補選定と協議会を拡充。

Matchingファンド型地域ブランド共同研究講座において実施する高度専門職業人材育成（例）



2. 取組の進捗状況

【取組6】地域展開ビジョン2030の推進

地域創生プロジェクトの推進による民間投資の呼び込み

令和2年度の実績/計画 = 0.1/0.05億円

令和2年度
自己評価



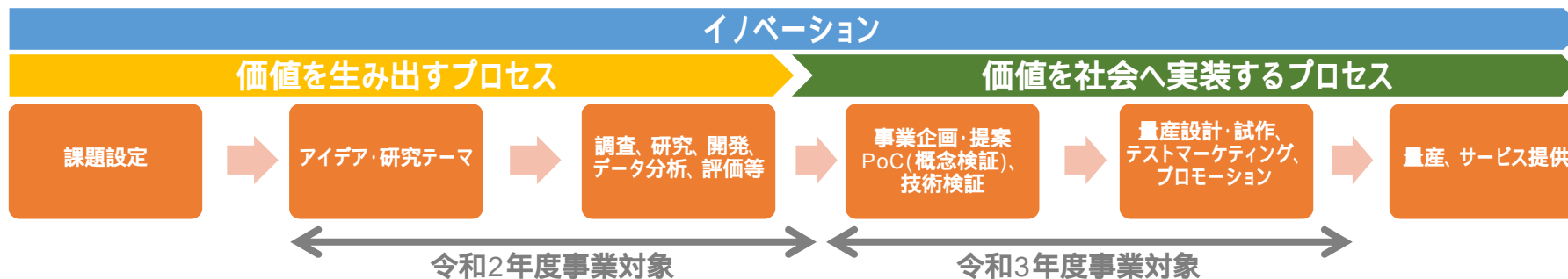
令和2年度の活動実績

- 地域展開ビジョン2030**に実装した**プロジェクトの実行**により、**目標を超える総額0.1億円**の共同研究収入を達成。加えて、**社会実装や民間企業の参画の促進**が期待される研究プロジェクトの**公募事業**で採択した28テーマに対して**予算支援**（アクセラレーション事業）。

※ 研究者は、成果発表時に、内閣府国立大学イノベーション創出環境強化事業(Cabinet Office Project to Enhance Innovation Creation Environment for National Universities)の支援を受けたことを謝辞に記載するようルール化（同事業の学内公募事業も同様）

令和3・4年度の計画

- 公募**（アクセラレーション事業）の報告書を**検証**し、**重点支援プロジェクト**をメインに、産学連携**コーディネーターによるマッチング・プロモーション**を行っており、本事業に関連して、**年度目標の0.5億円を超える0.7億円(新規23件)の共同研究**が開始（令和3年6月末時点）。
- 地域展開ビジョン2030**を一層推進するため、令和3年度に2つの取組を計画。
 - リサーチマネジメントの強化**をコアとした活動内容の**見直し・公表**
 - 研究シーズ提案**に必要な**PoC(Proof of Concept)**及び**プロモーション費用**の**支援**事業
- 令和4年度末に本事業で実践した**イノベーションのための一連の取組**を**評価・総括**し、**更なる民間投資の呼び込み**に向けて**取組を再構築**。



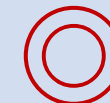
2. 取組の進捗状況

【取組 7】 寄附金獲得体制の強化

「教員個人」から「組織」による寄附金獲得体制への変革

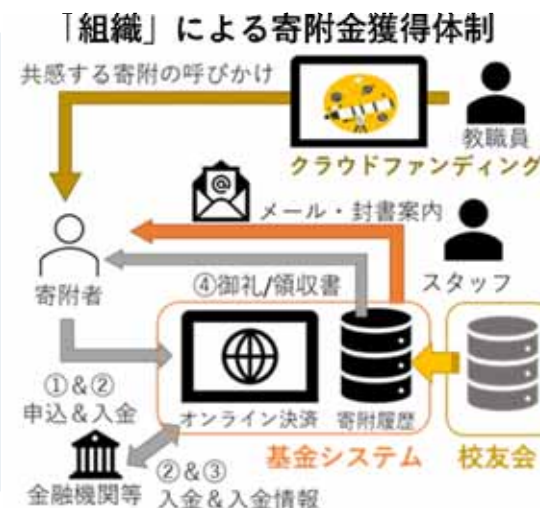
令和2年度の実績/計画 = 0.95/0.5億円

令和2年度
自己評価



令和2年度の活動実績

- 寄附金事業の強化目的で設置されたDO室において**卒業生等への積極的な募金活動**を行い、**コロナ禍での特別修学支援プログラムを成功**させ、基金として**当初計画した0.5億円の約2倍にあたる0.95億円の収入**を獲得。
- 体制変革の一環として、**DO室へのファンドレイザー(1名)の配置**、寄附金事業の**マーケティングツール**となる**基金システム導入に着手**。
- 新たな寄附金収入手段**に位置付ける**クラウドファンディング**を、大学として**安全かつ効果的に運用**する目的で、「**岐阜大学基金クラウドファンディング実施要項**」の素案を準備。



令和3・4年度の計画

- 令和3年度は**基金システムの導入を完了**し、令和4年度より運用を開始すると同時に**過去の寄附金事業の分析**を行い、**事業戦略と具体的な募金活動を立案・実行**。
- 令和3年7月に「**岐阜大学基金クラウドファンディング実施要項**」を制定し、岐阜大学公認の**クラウドファンディング第一弾**として学術アーカイブ事業や生命科学分野プロジェクトについて、**10月開始**に向けて準備中。令和4年度には**実施要項の適用範囲**を基金以外のプロジェクトに**拡大**。
- 岐阜大学の**ステークホルダー全員参加のコミュニティ**として、令和4年度に**岐阜大学校友会(仮称)を発足**させる計画であり、令和3年度は、母体となる**同窓会連合会の充実**に加え、教職員OB・在学生等の**新たなステークホルダーの取り込み**を開始。

2. 取組の進捗状況

【取組 8】 外部資金獲得が促進される人事制度改革

外部資金獲得研究者の裾野拡大と「とんがり」の卓越化

令和2年度の実績/計画 = 0/0億円

令和2年度
自己評価



令和2年度の活動実績

- 民間企業等からの**外部資金**（共同研究・受託研究・受託事業）**獲得額の多い教員**に対する「**産学連携教授**」「**産学連携准教授**」の称号授与、所属研究室の運営支援を行う「**産学連携重点研究室**」認定の制度を創設。

令和3・4年度の計画

- 令和3年度より称号授与・研究室認定の制度運用を開始し、効果検証と必要な改善を実施。

産学連携教授・産学連携准教授の称号授与		
称号	対象	過去3年間の民間企業等からの外部資金の獲得額（平均）
産学連携教授	准教授、講師	1,000万円以上
産学連携准教授	助教	200万円以上
称号授与期間	3年（資格がある場合、更新可）	
令和3年度実績	3人（産学連携教授 2人、産学連携准教授 1人）	

産学連携重点研究室の認定		
	過去3年間の民間企業等からの外部資金の獲得額（平均）	支援額
産学連携重点研究室	2,000万円以上	100万円
支援経費の使途	事務補佐員・技術補佐員等の雇用経費のほか、研究室の運営に必要な経費	
認定・支援期間	3年（資格がある場合、更新可）	
令和3年度実績	2研究室	



3. 交付金の活用状況

令和2年度（交付済：3億円）

令和3年度（交付見込：総額1億円【留保分：0.4億円】）

目的	交付年度	使途	金額 (単位：億円)	期待される効果
岐阜・名古屋両大学における研究実務レベルでの一体化の推進 取組1,2,6など	R2	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜大学・名古屋大学による連携研究グループ形成支援事業 名古屋大学との管理システム統合（安全保障） イノベーション創出事務体制強化 	0.49	<ul style="list-style-type: none"> 名古屋大学との連携研究グループ形成事業により、岐阜大学と名古屋大学の研究をマッチングさせた大規模プロジェクトへの発展が期待。 安全保障・利益相反の管理システムの統合、契約業務管理システムの構築により、研究支援組織の実務フローを共通化し、機構として一体化した業務の効率化が期待。
	R3	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜大学・名古屋大学による連携研究グループ形成支援事業 名古屋大学との管理システム統合（利益相反） 契約業務管理システム構築 	0.44 【0.18】	
外部資金獲得に繋がる新たな産学連携の機会創出及び機会の増加 取組4,5,6	R2	<ul style="list-style-type: none"> 地域展開ビジョン2030アクセラレーション事業（共同研究化） マッチングファンド型地域ブランド共同研究講座の制度設計 デジタルマッチングツール開発（基本仕様策定） 	1.25	<ul style="list-style-type: none"> アクセラレーション事業の社会実装が可能な研究テーマへの選択的資金投入により、教員と産業界との新たなチャンネル形成・強化が促され、持続的な産学連携機会の創出と共に、マッチングファンド型地域ブランド共同研究講座の設置が期待。 デジタルマッチングツールにより、Webを通じた産業界ニーズと学内技術シーズマッチングが容易になり、コロナ禍に象徴される非対面環境下での共同研究の機会損失を抑止。
	R3	<ul style="list-style-type: none"> 地域展開ビジョン2030アクセラレーション事業（社会実装） マッチングファンド型地域ブランド共同研究講座の設置 デジタルマッチングツール開発（システム開発） 	0.31 【0.10】	

（【 】は留保分からの支出予定）

3. 交付金の活用状況

目的	交付年度	用途	金額 (単位：億円)	期待される効果
外部資金の安定化と増加を目指した資金獲得手段の多様化 取組 2, 3, 7 など	R 2	<ul style="list-style-type: none"> 共用機器の外部利用環境整備 (ツール開発と人件費) 東海地区スタートアップエコシステム構築に向けた起業支援事業 	0.65	<ul style="list-style-type: none"> コアファシリティ事業により、地域内の大学・公的研究機関・民間企業からの利用頻度増大・利用料収入増加が期待。 大学発ベンチャーの活性化により、共同研究案件の増加、企業価値の向上に伴う所有株式等の資産価値増加、将来的な寄附金獲得が期待。 基金システムによる寄附金事務の効率化、寄附者マーケティングとURAのクラウドファンディング支援により、寄附件数と寄附収入の増加が期待。
	R 3	<ul style="list-style-type: none"> コアファシリティ事業の基本システムシステム開発 ベンチャー起業運営支援活動に係る人件費 基金システム構築 クラウドファンディング実施人件費 	0.14 【0.04】	
強み分野の更なる競争力強化 取組 8 など	R 2	<ul style="list-style-type: none"> 糖鎖生命コア研究所共同研究事業 SDGs及び東海地域の諸課題の特定とその解決に向けた基礎研究支援事業 	0.44	<ul style="list-style-type: none"> 国際的に高い研究競争力を持つ糖鎖生命コア研究所を軸に、国内外研究機関との共同研究の推進の支援により、直接的な外部資金獲得、優秀な研究者の取り込みによる一層の競争力強化が期待。 産業技術総合研究所とのアライアンス事業により、両機関の強み分野をマッチングさせた共同研究をベースに大型外部資金の獲得を進め、新たな研究プロジェクトへの昇華が期待。
	R 3	<ul style="list-style-type: none"> 糖鎖生命コア研究所共同研究事業 産総研とのアライアンス事業 産学連携重点研究室支援 	0.07 【0.05】	
知的財産の運用体制強化 取組 1	R 2	<ul style="list-style-type: none"> 保有技術と協力企業の技術移転支援活動 名古屋大学との管理システム統合 (知的財産) 	0.17	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産管理システムの統合、民間技術移転企業の活用と知財コーディネーターによる技術移転支援により、知財マーケティングの戦術の幅を広げることができ、産業界からの知財アクセス頻度の増加及び知財の販路拡大が期待。
	R 3	<ul style="list-style-type: none"> 保有技術と協力企業の技術移転支援活動 	0.04 【0.03】	

(【 】は留保分からの支出予定)

4. 大学収入の状況

< 民間資金獲得計画 >

民間資金獲得額増加計画調書申請時

(単位：億円)

費目名	令和元年度 実績	令和2年度 計画	令和3年度 計画	令和4年度 計画	増加額 令和4-令和元
産学連携による間接経費収入	1.0	1.5	1.9	2.4	1.4
受託研究費	1.5	1.5	1.5	1.5	0
共同研究費	5.8	5.7	6.2	8.0	2.2
受託事業費	2.9	2.9	2.9	2.9	0
寄附金収入	11.0	11.5	11.8	12.5	1.5
特許収入	0.1	0.2	0.3	0.5	0.4
施設利用収入	0.02	0.02	0.12	0.22	0.2
計	22.32	23.32	24.72	28.02	5.7

実績及び変更後の計画

(単位：億円)

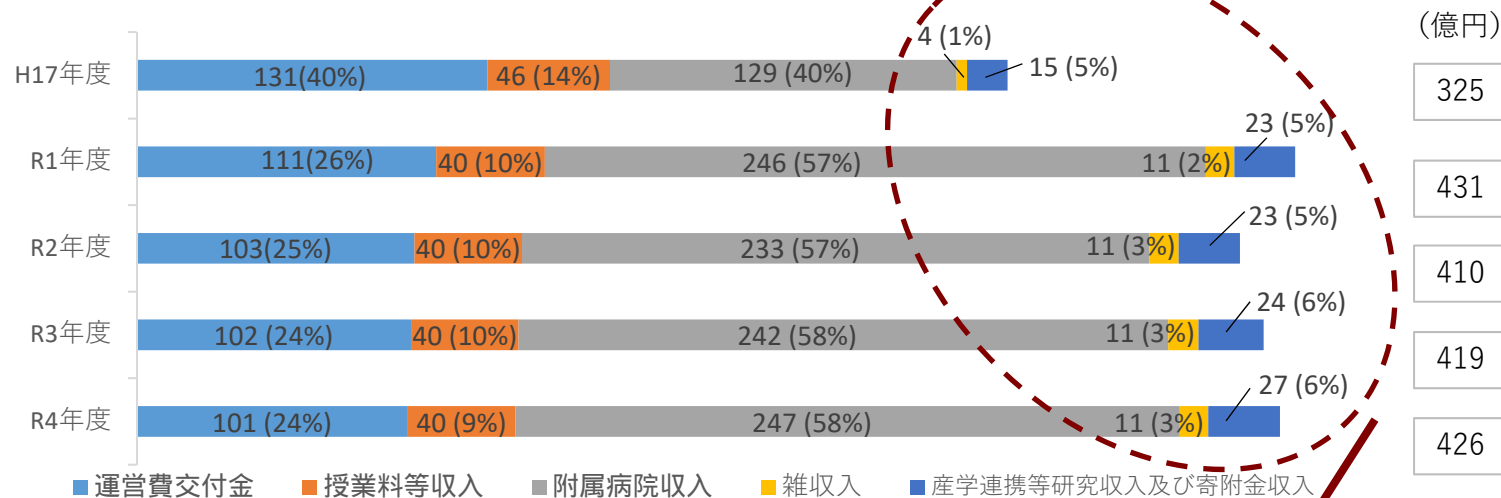
費目名	令和元年度 実績	令和2年度 実績	令和3年度 計画	令和4年度 計画	増加額 令和4-令和元
産学連携による間接経費収入	1.0	2.0	<u>2.2</u>	<u>2.3</u>	<u>1.3</u>
受託研究費	1.5	2.1	<u>2.1</u>	<u>2.2</u>	<u>0.7</u>
共同研究費	5.8	6.3	<u>6.5</u>	<u>7.3</u>	<u>1.5</u>
受託事業費	2.9	2.5	2.9	2.9	0
寄附金収入	11.0	9.9	<u>10.5</u>	<u>12.0</u>	<u>1.0</u>
特許収入	0.1	0.1	0.3	0.5	0.4
施設利用収入	0.02	0.02	0.12	0.22	0.2
計	22.32	22.92	<u>24.62</u>	<u>27.42</u>	<u>5.1</u>

「受託研究費」、「共同研究費」、「受託事業費」の各費目は、直接経費を記載。これら3費目に対応する間接経費収入の合計を「産学連携による間接経費収入」の費目に記載。

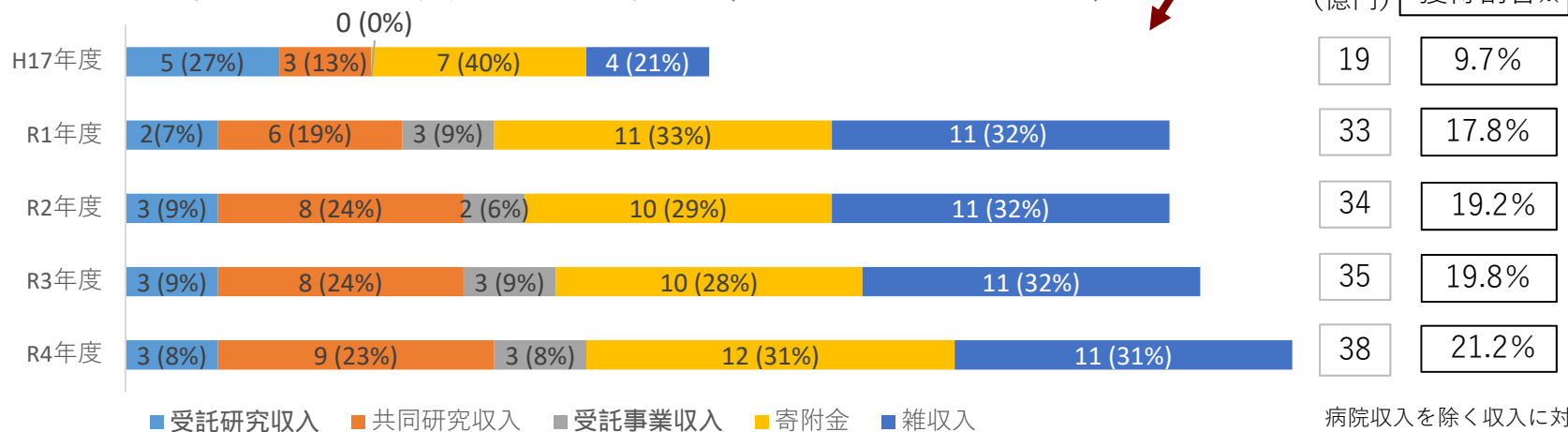
4. 大学収入の状況

<実績及び変更後計画に基づく大学収入の見込み>

岐阜大学の収入の推移 (R 1 年度→R 4 年度)



岐阜大学の外部資金収入の推移 (R 1 年度→R 4 年度)



病院収入を除く収入に対する外部資金収入の割合

5. その他

計画実現のためのガバナンス強化 岐大・名大連携研究グループ形成事業

岐阜・名古屋両大学の特色を活かした相補的な研究者で構成される研究グループを10件を形成。グループの活動は、機構設立趣旨の一つである研究におけるシナジー創出に加え、機構研究者としての一体感を増すことに繋がり、機構としての目標・価値観の共有促進を通じたガバナンスが強化。

イノベーション創出強化支援事業の政策的効果

若手研究者のポスト拡大

産学連携で優れた成果を有する若手研究者の昇任を優先する制度を実施し、工学部・応用生物科学部各1名の助教が准教授への昇任資格を獲得。
令和3年度からは、世界トップレベル研究者を支援する若手育成プログラム（G-YLC）を開始。

基礎研究応援プログラム

岐阜大学において、地域的に中小事業者からの投資が主であるため、研究初期段階での共同研究実施は困難であるが、本プログラムにより、民間投資を呼び込める段階まで研究を進めることができ、新規の共同研究を推進。

民間企業との共同研究促進事業

産学連携を率先する研究者の育成を目的に、民間企業との共同研究機会の創出活動を支援。
令和元年度までの30万円×3件の事業規模から、令和2年度から50万円×10件に拡大し、7件を採択。

イノベーション創出環境強化室

URA、プロジェクト・マネージャーが執務を行う学内初のフリーアドレスオフィスを整備。



イノベーション新棟

ベンチャー支援(取組2)を中心に設置を進めている試作環境やコワーキングスペースを発展させた岐阜大学のイノベーション中心拠点となるイノベーション新棟構想について、文部科学省の施設整備補助事業やJSTの大学ファンドを活用した具体的な構想を立案。



イノベーション創作室等の具体事例

■ 試作開発専用の**岐阜大学イノベーション創作室**の学内整備

学内の試作品製作環境を起業人材に提供。

実習用CAD/CAEソフトウェアや金型加工用のNC制御工作機械装置、成形機、3Dプリンタ等を完備。



■ 「東海地区スタートアップエコシステム構築に向けた起業支援事業」において**岐阜大学から5件**を採択。 **採択全件でベンチャー創設に向けた取組**を開始する中、自然科学研究科と医学部(看護学科)の学生の取組が、**キャンパスベンチャーグランプリ全国大会**において、**文部科学大臣賞・テクノロジー大賞、審査委員会特別賞を受賞**（令和3年1月）。

- 文部科学大臣賞・テクノロジー大賞：自然科学研究科1年生ほか
「本学独自技術『高分子フィルム・繊維加工技術』を用いた高機能性衣料（感染症(虫除け)対策に有効な衣類）の開発」
- 審査委員会特別賞：医学部看護学科3年生
「看護学生向けウェブメディアを用いたキャリア支援プログラム」



■ 学内人材と地域産業界との**協働/共創コワーキングスペース**の整備（令和3年度実施中）

令和3年4月より、地域金融機関である十六銀行グループ投資専門会社「NOBUNAGA キャピタルビレッジ(株)」運営のスタートアップ創出/活動拠点「NOBUNAGA ビレッジ」に入居、学外機関との協働/共創コワーキングスペースを整備。



参考資料：取組 3

Web検索システムの詳細

[名称] 外部向け機器共同利用・受託解析サービス

[アドレス] <https://www.kyoyo-gidai.net/>

[機能] 単語・文章入力による装置・サービスの検索
機器詳細・料金の確認。利用申し込み

[令和2年度] 共同利用機器20台、受託解析サービス3項目を
登録し、運用開始

[令和3年度] 共同利用機器計120台、受託解析サービス計10項目
を登録予定

検索性の向上のため、検索語拡張機能・検索語
データベースを追加予定

[メンテナンス性] Webページ作成に関する専門知識がなくても、
テンプレート画面を利用した機器やサービスの
追加登録・訂正・削除が可能（専門人員が不要）

**外部サーバー利用によりサーバーメンテナンス
不要(自前でのセキュリティー対策等が不要)**

登録台数に制限なし

TOPページ



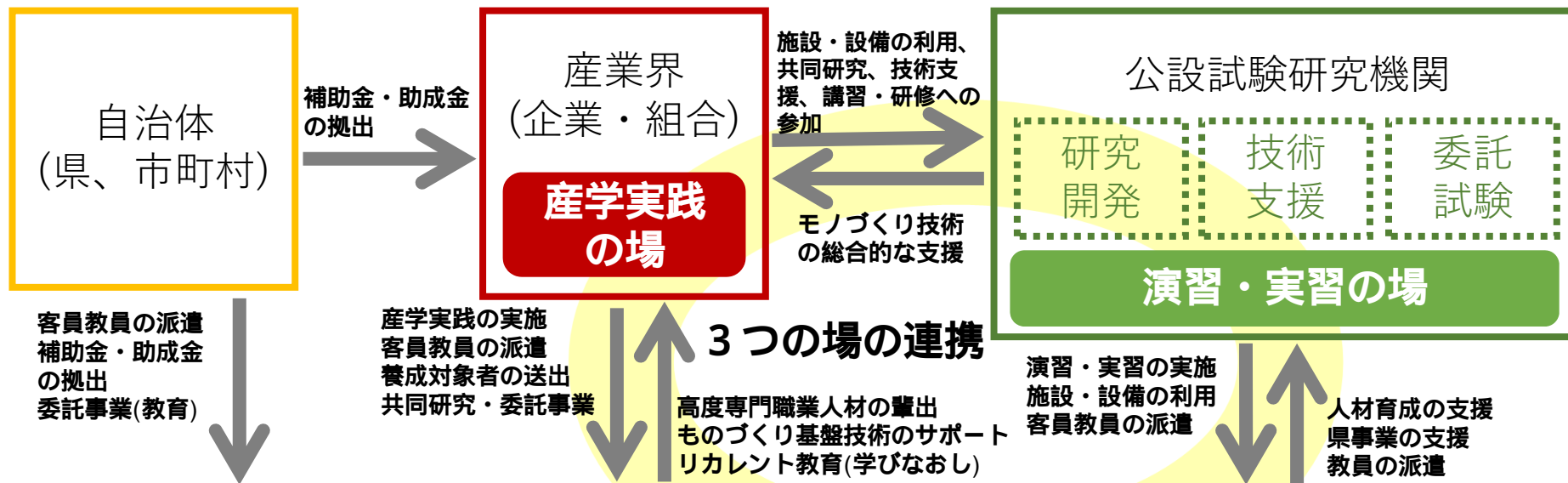
検索結果画面



登録操作画面



マッチングファンド型地域ブランド共同研究講座



岐阜大学
(学術研究・産学官連携推進本部
工学部・工学研究科)

連携
リソース
拠出

マッチングファンド型地域ブランド共同研究講座
(一般教養、基礎教育、専門教育)

「教育プログラム」の狙い

- 地域ブランドの継承、さらなる高度化
→ **イノベーション、産業振興**
- ブランドの魅力を世界へ発信
→ **シェアの拡大、優秀な人材の確保**
- 高度専門職業人材の輩出
→ **地域活性化、定住・定着**

研究室 (例) 材料 DX 標準化

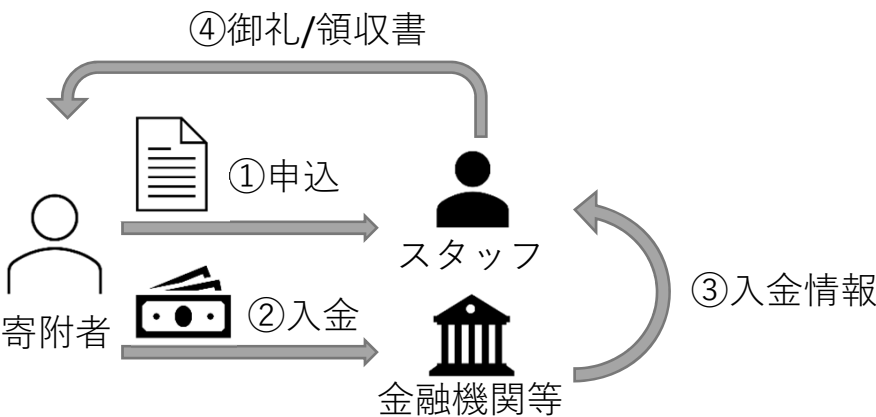
役割 ・教育をとおして、高度専門職業人材を育成する
・リカレント教育により、社会人に学びの場を提供する

規模 ~10名/学年(学部、大学院)、リカレント教育別

データベースマーケティングとクラウドファンディング

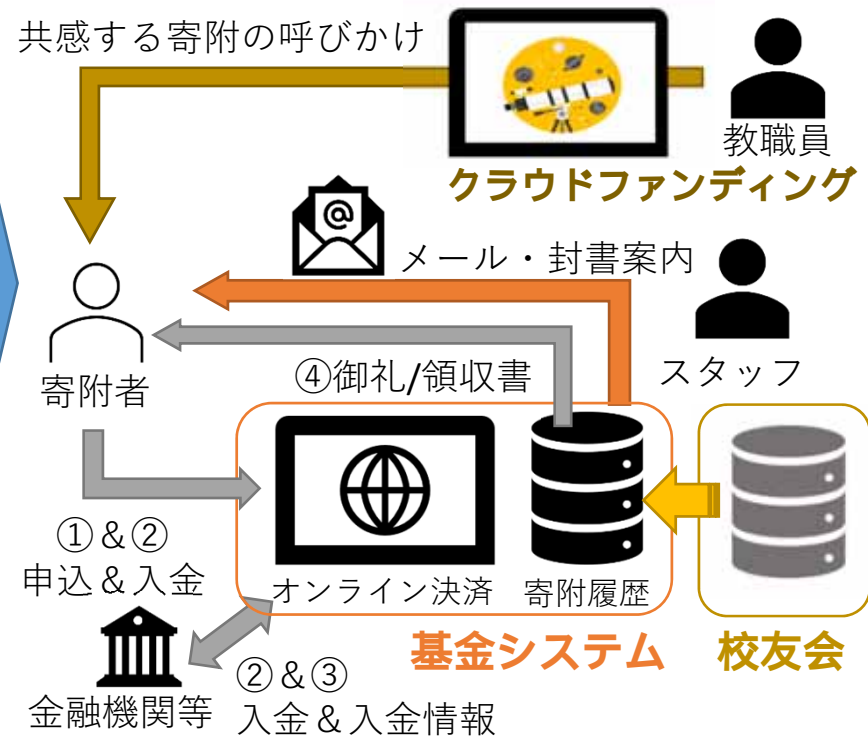
従来（取組前）

- ・ 個人レベル/経験的営業
- ・ 特定個人/法人による寄付
- ・ 手動の手続きと事務処理



取組後

- ・ 組織レベル/データベースマーケティング
- ・ クラウドファンディングの導入
- ・ 手続きと事務処理の自動化



- ・ 業務効率化と取扱い件数増加への対応
- ・ 継続寄附者、新規寄附者の開拓